

船舶法第3条ただし書の規定による申請書(洋上風力発電設備関係)

年 月 日

国土交通大臣 殿

申請者 住所

氏名(法人にあつてはその名称及び代表者氏名)

船舶法(明治32年法律第46号)第3条ただし書の規定により、特許していただきたく、申請いたします。

記

■特許を受けようとする船舶の船名、船種、総屯数、船主、運航者

船名		国籍
船種		
総屯数		
船主 (法人にあつてはその名称及び代表者氏名)		国籍
運航者 (法人にあつてはその名称及び代表者氏名)		国籍

■特許の種類

必要とする特許の項目	(該当するものに○をして下さい。) 不開港場寄港特許・沿岸輸送特許
------------	--------------------------------------

(関税法(昭和29年法律第61号)第2条第1項第11号に規定する開港以外の不開港場へ寄港する場合は、「不開港場寄港特許」に○をして下さい。)

■沿岸輸送の内容

洋上風力発電設備の設置区域										
工事等の種類										
工事等の期間(予定)		年	月	日から		年	月	日まで		
輸送計画(沿岸輸送の場合)	貨物	別紙1のとおり								
	旅客	別紙2のとおり								
日本船舶を手配できない理由	別紙3のとおり									
特許を受けようとする期間										

輸送計画(貨物)

1. 輸送計画の内容(品名毎に記載すること。同じ品名であっても積地又は揚地が異なる場合には分けて記載すること。)

No.	品名	数量	積地	揚地	輸送頻度 (期間・回数)
(例)	モバイル	38本	横浜港	銚子沖	●年●月～●年●月 ●回程度
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

2. 各輸送に必要な船舶のスペック ※1. の各輸送について、最低限必要な船舶のスペック及びその理由を記載。

No.	最低限必要な船舶のスペック (全長、全幅、喫水、総トン数(G/T)、載貨重量トン数(D/W)、最大吊上荷量、デッキ面積、DPS機能の有無)	理由
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

輸送計画(旅客)

1. 輸送計画の内容

No.	輸送人数 (延べ数)	旅客の 職種別内訳 (延べ数)	乗船地	下船地	輸送頻度 (期間・回数)
(例)	50名	技術者40名 工事監督10名	横浜港	鏡子沖	●年●月～●年●月 ●回程度
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

2. 各輸送に必要な船舶のスペック ※1. の各輸送について、最低限必要な船舶のスペック及びその理由を記載。

No.	最低限必要な船舶のスペック (全長、全幅、喫水、旅客定員、総トン数(G/T)、DPS機能の有無)	理由
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

日本船舶を手配できない理由

- ※1 申請者が洋上風力発電事業者以外の場合は、洋上風力発電事業者から聴取し、洋上風力発電事業者としての取組を記載すること。
- ※2 洋上風力発電事業者がコンソーシアム又は特別目的会社(SPC)などの事業体の場合は、事業体としての取組を記載すること。
- ※3 申請に係る外国船舶の日本籍への転籍等、日本船舶の確保方策についても記載すること。

